



# まちにぎWS通信

Vol. 1

10月26日（月）に開催された「第1回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

## ～ 第1回WS概要 ～

開催日：平成27年10月26日（月）  
 場所：行田市商工センター 403研修室  
 時間：18：30～20：30  
 参加人数：28名  
 グループ数：6グループ



## ～ 第1回WSのプログラム ～

- 1.開会のあいさつ・趣旨説明
- 2.本事業の説明
- 3.質疑応答
- 4.閉会

## ～ WSの内容 ～

市では、平成25年度に策定した「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」に基づき、住民主体のまちづくりを実現するため、まちづくりへの住民参画の場（まちにぎWS）を設け、様々な検討を重ねてきました。

今年度から、市の主要事業として、5カ年にわたる中心市街地のまち並み景観整備（ハード面）と賑わい創出に向けた仕組みづくり（ソフト面）に関する事業をスタートしました。

第1回WSでは、事業の目的や内容をはじめ、「市民が主体的に活動するまちづくり」の必要性について説明し、意見交換を行いました。

## ～ 質疑応答 ～

事業についてのご意見やご提案を参加者の皆様から多数いただきました。今後WSを運営していく上で、参考とさせていただきます。

## ～ 主なご意見・ご提案 ～

- ・女性参加者が少ないので工夫してPRしてほしい。  
→多くの女性が参加できるよう、引き続き努力いたします。
- ・住民主体組織を設立した後の目標は？  
→市民が主体となったまちづくりに向け、大学、行政、住民が連携して取組んでいきます。



## ～ 次回ワークショップの予定 ～

第3回 11月24日(火) 18時30分～20時30分  
 行田市商工センター 403研修室



11月9日（月）に開催された「第2回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

～ 第2回WS概要 ～

開催日：平成27年11月9日（月）  
場所：行田市商工センター 403研修室  
時間：18：30～20：30  
参加人数：20名  
グループ数：5グループ

～ 第2回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

第2回WSでは行田市が抱える最重要課題である、その土地に住む人を指す「定住人口」の減少と、観光客や買物客など市外から目的を持って訪れる人を指す「交流人口」の減少について、どのような方法で解決していくかをグループに分かれて意見交換（グループワーク）を行いました。

そのなかで、定住人口が減少すると税収の減少に繋がり、公共サービスが低下する可能性があること、またイベント開催など、一過性による交流人口の増加を図るだけでなく、継続的に人を呼び込むことの必要性について、参加者の皆様と認識を共有しました。



～ グループワークの結果 ～

グループワークでは、【人口減少を止めるには？】と【観光客・交流人口を増やすには？】の2つのテーマについて、5つのグループに分かれてグループワークを行い、下記のとおり主な意見としてとりまとめました。

**テーマA** 【人口減少を止めるには？】

・Aグループ

子育て世代の女性の雇用機会創出に加えて、地域で子どもを預かってもらえるような環境整備を進めることで待機児童をなくすなど、子育て世代が安心して住めるようなまちにする。また、忍城や足袋作りの技術披露会等を当事者自らが情報発信し、行田の魅力のアピールする。

・B,Cグループ（合同で議論）

企業を誘致して雇用の場を創出することや、屋台村のようなものをつくり、若者向けの店舗を増やすことで、若者の流出を防ぐ。

**テーマB**

【観光客・交流人口を増やすには？】

・Dグループ

観光資源に関わっている人とボランティアが協力し、観光資源をもっと盛り上げると同時に、観光PRを行い、足袋蔵など多くの観光資源を周遊できるような散策ルートを作成する。

・Eグループ

積極的にまちづくり活動を行っている人をまとめるなど、市民全体で観光客の誘致に取組み、綺麗で安全なまちづくりを実践し、観光客にまた行田市に來たいと思ってもらえるようにする。

・Fグループ

行田音頭や昔からの祭りなど、行田特有の文化を大切にするとともに、NPOや市民大学がPRを行い、実際の利用者・参加者の声を聞き、改善していくことで、市の魅力を増やしていく。

～ 次回ワークショップの予定 ～

第4回 12月14日(月) 18時30分～20時30分  
行田市商工センター 403研修室